

【実践報告】

令和3年度 教育実習Ⅲの実践と成果および課題～新型コロナ感染拡大2年目の中で～

広島文教大学教育学部教育学科

教授 杉 山 浩 之

講師 平 山 裕 基

1 実習の延期

2021（令和3）年度、前期予定の教育実習Ⅲ（2週間、幼稚園、4年生、5月～6月）は、昨年に引き続き、新型コロナウイルスの感染拡大の影響で、一部の実習が延期となった。昨年度は、「担当教員から教職センターの承認を経て、一旦すべて延期する事態となった」が、今年はそれを避けることが出来た。それは、園と大学共に昨年度の経験が生きたことがあるのではないかと。昨年度は、「地域や各園の実態を詳細に判断していくと実習可能な園もあったが、大学の授業が基本的にオンライン（Teams）であったため、実習の事前学修をすべてオンラインで行うことには指導上の効果に課題があるという判断を担当者が行った」と記載したが、今年度は園が可能という判断をしている実習は実施した。先が読めないということから可能な園の実習は済ませることが良いと担当教員で判断した。緊急事態宣言や蔓延防止の発令が出ている中であったが、園の受け入れ可能な時期を選び、予定通り、すべての実習を園において行うことが出来た。

2 事前指導

事前指導は、第1回を4月19日（月）2コマ、対面授業で行う。第2回も対面授業5月10日（月）2コマに行い、第3回は5月24日（月）2コマ、オンライン授業で行った。当初予定の5月31日開始の学生から、期間の定まっていない学生も全員あつめた。実習日誌や実習関係の書類の配付などは、対面指導で5月10日に完了した。第3回5月24日は、一人ひとりの実習時期の確認や、感染防止のための指導を中心に行った。

昨年度と同様に、実習に関わる指導内容は、3年次に幼稚園実習や保育実習を経験してきた学生ということで、学生たちは特に新しい内容も少なく、1回説明すれば十分な内容である。大学及び教職センターから通知されていた新型コロナウイルス対策の行動基準があるので、それを示して徹底するように指導した。（幸いに、新型コロナウイルス感染が実習生から発生することもなかった。）ほとんど全員が、遅くとも7月には開始できる状況になり、広島市公立幼稚園など7月開始の場合は、幼稚園が夏休みにはいるために、学生は多くが3日前後を9月以降に残した。保育士など公立の採用試験がある場合、学生の希望を聞き、幼稚園と交渉して時期を決定していった。

以後の事前指導は、必要に応じて個別の指導を行ったが、上にも書いたように計4回の実習を経験した学生であり、新型コロナウイルス感染が収束しない中、就職活動や就職試験の学習も並行しつつ、最後の実習を行った。

3 実習日程の決定（表）

新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、当初予定の5月31日から実習開始できた学生もいたが、一部の実習が延期となった。今後、この状況がどのように変化、推移していくか不確定であったため、実習日程を全体で一律に延期するのではなく、今年度は園が可能という判断をしている実習は実施していくことを担当教員で判断した。実習延期となった学生に対する実習日程の決定は、園の状況把握と学生の就活を踏まえて決めていった。その結果、以下の教育実習Ⅲの実習日程一覧表の通り、実習実施ができた期間によって第1期（当初の予定期間での実施）、第2期（緊急事態宣言解除後の実施）、第3期（広島県の集中対策期間終了後の実施）と示した。特に、広島市の公立幼稚園においては、6月の緊急事態宣言解除後（6月20日）も広島県の集中対策期間（6月21日～7月11日）が終了するまでは実習の受け入れが不可となり、多くの園で7月12日以降の実習開始となった。その後も、園の状況によって、9月、10月、11月と期間を分散させながら、実習園との個別交渉を行い、実習日程を決定し、対応した。

4 巡回指導

巡回指導は、昨年と同様に、直接訪問指導と電話による間接訪問の組み合わせは変わらないが、感染拡大の中、保護者も園内には入らない状況から、巡回教員もそれに合わせるということで、多くの園で、園には電話で、学生とはオンラインで指導を行った。

教育実習Ⅲの日程一覧表（2021）

第1期 実習期間（5月31日～6月16日の期間で実施）		人数
公立（人数）	島根（1）	1
私立（人数）	広島（21）、島根（1）、山口（2）、愛媛（1）、大分（1）	26
第2期 実習期間（6月21日～7月19日の期間で実施）		
公立（人数）	広島（1）、大分（1）	2
私立（人数）	広島（16）	16
第3期 実習期間（7月12日～21日、および9～11月の期間に分散して実施）		
公立（人数）	広島（13）	13
私立（人数）		
計		58

5 事後指導

事後指導は、実習時期が異なったり、就活の時期に重なったり、オンライン授業から後期の対面授業への変化、無症状の感染可能性のある学生など諸要因から、例年のグループ討議や報告会は実施せず、昨年の個別の課題（実習の振り返りアンケート、自己評価、実習の評価開示の個別面談）から、グループワークに変更して行うことで終了した。なお、今年度は実習実施時期が大きく3つの期間に分散したため、それぞれの実習期間ごとに実習が終了するたびに事後指導を実施することで対応した。

おわりに

以上のように、2021年度は新型コロナウイルスの影響で、昨年度よりは多少の影響を少なくして教育実習Ⅲは無事に全員が終了できた。就職活動や卒業研究と並行させて努力した学生たちも例年に比べて大変であった。今年も昨年度に引き続き、学生たちは希望して与えられた教育実習に対してある意味で必死になって取り組んだ。今年も大変な状況の中で、実習期間の変更を受け入れてくださった幼稚園には誠に感謝する次第である。

(以上)